

町家合宿 in 京都 Vol.10

～参加の理由と不安について～

山下桂永子

京都にホームステイ 2007 感想文

私は、今回のホームステイに参加するかすごく迷っていました。実は京都駅から当日 Y 先生に電話したとき、体調があまり良くなかったこともあり、断るつもりでした。

自分でもそのとき何で断らなかったのか不思議でしたが、去年、本当に楽しくて、去年会った人たちにもまた絶対会いたかったし、本当はどうしても行きたかったんだと思います。

行くとはじめものすごく緊張して、去年と同じくこんな 2泊3日も無理やって一と思ってましたが、知らん間に大丈夫でした。

初日の夜ごはんはあまり食べれなかったけど、I さんが持ってきてくれたおぜんざい(?) がすごくおいしかったです。

去年は泊まれたけど、今年は泊まれませんでした。泊まれんことをみんなに言ったとき R ちゃんが「えーっ恋バナできひんやん。」って言ってくれたのが、嬉しかったし、少し面白かったです。

来年は泊まりたいと思ってます。(出来るかは別問題ですよっ。) 良い話が出来ればと良いなと思います (笑)

この文章は当時、高校 1 年生の A さんが書いてくれた 2 度目の町家合宿 (当時は町家合宿のことを町家ホームステイと呼んでいた) の感想文の冒頭部分である。女の子らしい、少し丸文字の、それでいて丁寧で読みやすい文章が、A4 の感想文用紙の表裏に上から下まで 1500 文字を超える長文でみっちり書かれていた。



☆A さんについて

A さんと私は、ある中学校の校内別室で出会った。その時 A さんは中学校 3 年生。小学校低学年から不登校で、普段は市の適応指導教室に通っているという。少し小柄で細身。切れ長の目にボブの髪型で、おとなしい雰囲気だが、話をしてみると、とても知的でしっかりしていて芯の通った子だなという印象だった。A さんは、学校には週に 1 回来るかどうかであったし、私も週に 1 回その中学校に行く学生ボランティアの立場だったので、私と A さんは数回会っただけで、話をじっくりしたこともなかったのだが、町家合宿の案内を渡したところ、来てくれることになった。

☆A さんが町家合宿に来た理由

今になって思えば、知り合いと言え、学校で何度か会ってちょっと話をした私がいるぐらいで、他に関係性が深い人がいるわけでもないのによく参加しようと思ってくれたものだと思う。1 年目に聞いた参加理由はなかなかユニークである。「いろんな大学生のボランティアの人と話がしてみたかった」とのことだった。また、保護者から聞いたところによると、「知ってる人がたくさんいるよりはいいっていう感じ」とも言っていたそうである。当時の私はその理由を聞いて、「へー、そんな理由もあるんだなあ」というぐらいにしかなかったが、この 10 数年の町家合宿参加者の中で、この理由を挙げた参加者は他にいなかったように思うので、感想文を改めて読んでみた今、彼女のユニークさとともに、想像以上の不安を抱えながらも町家合宿に参加してくれた勇気に感心する次第である。

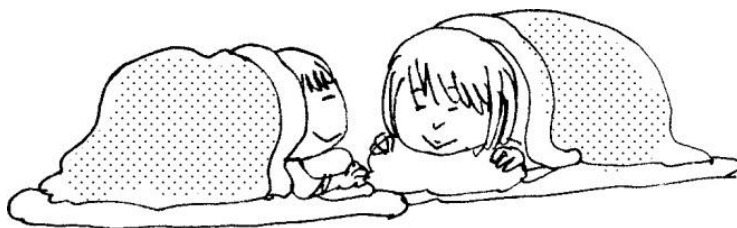
☆A さん 1 年目の町家合宿

そんな大学生のボランティアと話したいという理由で参加した 1 年目の町家合宿での A さんは、当初見るからに不安と緊張のかたまりだった。観光や大学見学のときに話をふれば、多少は笑顔で応えてくれるものの、全体的に表情も硬く、町家でぐったりしていることも多かった。目的だったはずのボランティアと話すどころの騒ぎではない。A さんは、じっと何かに耐えるように静かに私のそばにいるのがやっとなような状況だった。寝る部屋は私と同じがいいと A さんが希望したので、布団を並べて横になってはいたが、A さんは少なくとも初日はほぼ一睡もしていなかったと思う。夜中に何度かそっと A さんの様子を窺うと、時々 A さんと私は目があって「先生は寝ないの？」とささやくように A さんが聞いてきた。「私は寝なくても全然平気なんだよー」と強がりを言う私。若かったから言えたと思えない、今の私なら絶対に嘘でも言えない台詞である。私自身にとっても初めての町家合宿であったので、余裕がなかったことや A さんが眠れていないのに自分が寝るのもなんだか申し訳ないなという思いにも駆られ、不安な 2 人はまんじりともせず朝を迎えたのである。

その後も A さんは不安からか、常に私のそばから離れることはなかったが、2 日目の午後ぐらいからは徐々に私以外の他のスタッフとも話ができるようになり、緊張はしながら

も笑顔が増えてきた。

古着交換では、普段はボーイッシュな姿の A さんが、白いワンピースと麦わら帽子を身につけて、見事なイメージチェンジを果たし、他の参加者や私も含めたスタッフを魅了していた。最終日の A さんは、ほとんど眠れていない疲れはありありと見てとれたが、緊張感はなく、別れのときにはさみしさも感じさせるなど、町家合宿自体は楽しんでいたようで、1 年目の感想文にも「まだいたい」「またみんなで行きたい」「もっといたい」という、そんな気持ちが書かれていた。



☆A さん 2 年目の町家合宿まで

そんな 1 回目の町家合宿後、A さんと私はほとんど顔を合わすことはなく、A さんは中学校を卒業し、高校に進学していった。そのため A さんの様子もわからぬまま、次の年に半ば期待せずに郵送で町家合宿の案内を送ったのだが、思いもかけず、返事があった。参加の気持ちがあるが、迷っているので返事ができないとのことだった。そこで私からは「行くかもしれない気持ちだけ教えてもらっとけば、あとは前日でも当日でも連絡くれたらいいよ」などと伝えた。A さんが連絡をくれただけでも、しかも町家合宿にまた参加したい気持ちがあると伝えてくれただけで、私にとっては嬉しい気持ちだった。そんなのんきな私に比べると、感想文にあるように A さんは 2 回目の町家合宿参加に際しても大きな不安を抱えていたようである。

☆A さんが 2 度目も町家合宿に来れた理由

断ろうと思って電話した A さんが、それでも町家合宿に参加してくれた理由はなんだったのだろうか。

感想文によると「去年本当に楽しかったし、去年会った人にまた会いたい」という気持ちに押されての参加だった。1 年目の参加理由は「ボランティアの人と話したい」とあったし、感想文でも「またみんなで行きたい」とあった。つまり、A さんにとっては、人と会って話をするということが動機付けになったということだと思う。それは親しい人である必要はなく、その人と会う、話すなど関わることに限らず、何か目的や期待があれば、それは A さんの町家合宿参加への、いろいろな不安を超えうる力になっていたのかもしれないと思う。

☆不安を抱えること

何かをしたかったり行きたかったりするけれど、実際にはしない、行かないということや、昨日は行ける気がしていたけど、今日は行けない気持ちになるということは、どんな人にでもあることだが、特に不登校やひきこもりの子にとっては、日常的に起きていることかもしれないと思う。毎日毎日学校に行かなきゃ、行きたい、行ける、と書いていても、実際には行けない、行かないことが積み重なって、そうこうしているうちに自信もなくなって「行く」とも「行かない」とも言えなくなっていく。普段、不登校の子と関わっていて、「行きたいとは思っているけど本当に行けるかどうか自信がない」という言葉を時折聞くことがある。そこには予定が立てられない、見通しの立たない不安に圧倒されている様子がうかがえる。

☆自己決定で不安を軽減する

町家合宿の宿はオーナーのご厚意で、ほぼ毎年一軒全てを貸し切っているので、泊まる人数が多少予定と違ってても特に問題にはならない。参加者が多少増減することで狂うような予定はないし、そもそも予定がないのが町家合宿である（活動費の赤字具合を気にするのは私の度量の小ささでしかない）。まずは予定が立っていないことを OK にして、そこをスタートラインにしているわけである。

一方、予定がないことは不安にもつながる。予定がないことは、自由ではあるが、目的や欲求がなければ何をしたいかわからない状態でもある。予定が立てにくいなら、立てやすくするためにどうすればよいのだろうか。

町家合宿においてはその都度、自己決定を迫るわけだが、まず予定が立っていないけれど、立てないといけないという不安と葛藤が最初に設定されており、参加者それぞれ自分の目的や欲求を意識してもらい、かつそれを不安と葛藤の解消のための具体的な選択肢に落とし込むという作業をする。

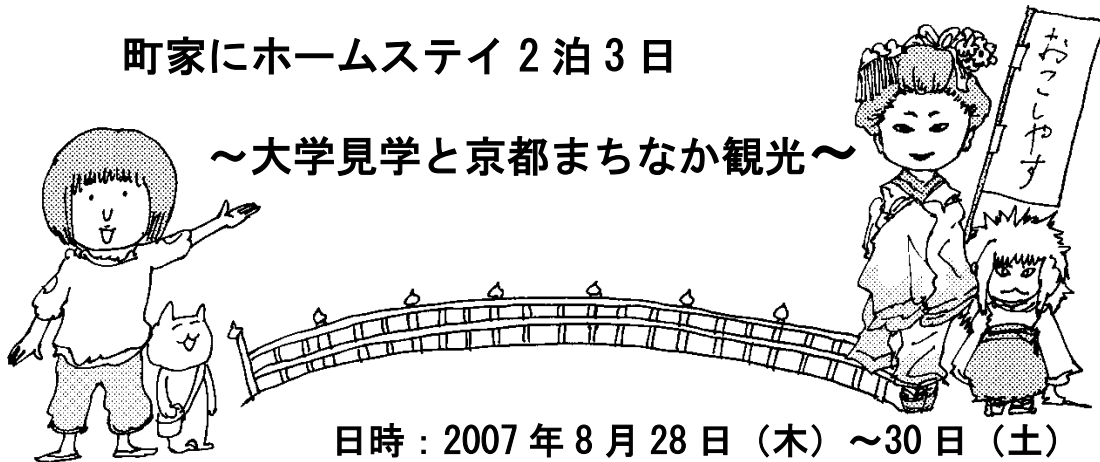
そんな中で、A さんの場合は、見通しの立たない不安に最初は圧倒されてしまっていたようだが、学生ボランティアと話をするという目的は、1 年目から徐々に実現し、そして 2 年目には、私とは別行動で他のスタッフと行動できるようになるまでに達成されることになるのである。





町家にホームステイ 2泊3日

～大学見学と京都まちなか観光～



日時：2007年8月28日（木）～30日（土）



京都市内に来たことはありますか？観光？買い物？京都にはたくさんの大学や専門学校があり、学生の町と言われています。とはいえ、学校の中を見る機会あまりはないですよね。他にも京都はお寺や神社だけでなく、カフェやアートギャラリーなどもたくさんあり、まだまだ見所がいっぱい。そんな「まちなか」を散策します。大学を見学したり、カフェや雑貨屋さん、市場をのぞいたり、いろんなモノを作ったり…。

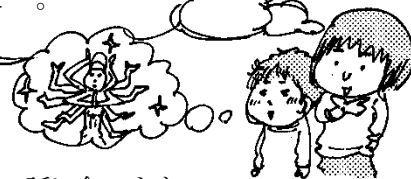
まだ見たことのない京都を一緒に体験してみませんか？

例えばこんな組み合わせ…

「立命館大学と金閣寺や北野天満宮」

「同志社大学と京都御苑」

「京都大学と銀閣寺観光」などなど…。



1日目の予定は事前に決めますが、2日目の予定は現地でみんなで話し合います。

やりたいこと、行ってみたい所など希望をどんどん出してください。

京都市内はバスが1日500円で乗り放題なのでいろんなところに短時間で移動出来ます。大学と観光地の間が歩いていける距離なのも京都ならではの。大学の食堂や近くのカフェでのんびりお昼ご飯なんていうのもいいですね。

詳細案内をご希望の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ先 ○○○○

